

たかやま林業・建設業協同組合

林建協働により飛騨高山地域の森林整備・木材生産を加速化



事業方針

飛騨高山地域（白川村含む）は、森林面積が235,000haと林野率が93%を占め、民有林は135,000haと岐阜県の約2割を占める地域である。

この広大な森林を適正に管理し、地球温暖化防止に貢献するとともに、豊富な資源を有効に活用するため、地域の建設業者と飛騨高山森林組合の協働によって、森林施業の集約化を行い、高性能林業機械の活用と地域に合った路網整備による低コスト木材生産システムの確立を目指す。

取り組みのねらい

◆先導性・モデル性

森林組合との協調のもと、建設業の業界単位での林業への本格参画は全国でもまれな取り組みであり、建設業の複業化推進に向けたモデルとなる。

◆相乗効果

森林組合と建設業が協働作業で森林整備に取り組み、地域全体の計画的な森林整備・木材生産体制を確立する。

◆雇用安定・地域再生

飛騨高山地域において、地域の森林管理不足の課題と建設業者の雇用確保の課題を、これまで連携のなかった林業と建設業が積極的な協働を行い、ビジネスモデルとして確立させることで、建設業労働者の林業分野での雇用促進を図り、飛騨高山地域の資源である木材生産の促進等により、地域の再生（経済効果の発生）を図る。

★成果

- ・建設業のノウハウを生かした従来とは異なる壊れにくい作業道の構築
- ・安全に関する能力を林業へ浸透
- ・多機能な森林に対する取組の推進
- ・低コスト作業システムの構築

組 合 組 織

① 役職員

理事長	大山土木株式会社代表取締役	野中 豊
副理事長	株式会社水口土建代表取締役	奥原 正一
副理事長	株式会社新井組代表取締役	新井 裕輔
副理事長	飛騨高山森林組合専務理事	阪本 太
専務理事	員外	松本 康司

他理事15名・監事2名

職員2名（兼務含む）

② 組合員

大山土木株式会社	飛騨高山森林組合	株式会社林工務店
株式会社新井組	株式会社杉建	株式会社ナカダ
株式会社水口土建	株式会社小坂建設	株式会社青木組
高橋建設株式会社	株式会社塩屋建設工業	森本建設株式会社
沢田建設株式会社	小坂建設株式会社	橋本建設株式会社
有限会社下仲組	株式会社南組	株式会社井上工務店

- ③ 所在地 〒506-0052 高山市下岡本町2344番地6（高山建設産業会館内）
TEL：0577-57-8890 FAX：0577-57-8891
E-mail：info@takayama-rinken.com
<http://www.takayama-rinken.com>

- ④ 出資形態 協同組合

- ⑤ 出資者 建設会社17社と飛騨高山森林組合

- ⑥ 出資額 900万円 （50万円18社）

- ⑦ 設 立 平成22年1月28日
事業開始 平成22年4月1日



林建協働の取り組み

事業実績	作業道整備関連事業			森林整備関連事業		素材生産量	集約化関連事業
	延長		事業量	面積	事業量		累計面積
	m	内屋根型	千円	ha	千円	m3	ha
R1	6,503	619	134,710	61	25,005	4,916	1,757
R2	10,574	223	243,417	51	16,895	4,629	1,869
R3	6,939	462	175,944	31	16,378	3,385	2,082
R4	6,112	0	150,669	43	27,134	4,357	2,347
R5	6,866	1,734	215,368	80	41,988	6,166	2,424
R6(計画)	5,752	510	212,020	109	48,322	5,259	2,474

主な事業地

- ・ 高山市清見町夏厩地内 健全で豊かな森林づくりプロジェクト夏厩林建協働団地
- ・ 高山市内森林経営計画団地（上宝町地内他22団地）

取り組みの実績

- ・ 岐阜県主催ドイツフォレスター研修会の共催、森林・林業・環境機械展示実演会併催イベント企画
- ・ 屋根型他作業道排水処理工法の試験実施
- ・ 低コスト主伐再造林の実践
- ・ ドローン、OWL、GNS Sによる森林調査
- ・ 災害レスキュー訓練、外来生物駆除活動
- ・ 地元高校生現場見学会協力、視察受け入れ 他



今後の取り組み

- ・ 欧州型林業を参考にした施業方法の普及活動
- ・ 木材生産と環境保全を両立させた森林整備
- ・ 森林の現況に応じた柔軟な施工能力を有する建設業者の育成 他

林業における課題

森林づくりに対する基本的な考え方の見直しが必要

保全対象に配慮した区域設定により木材生産と環境保全の両立を図る

①道の重要性を認識

- ・ 人工林区域に限定することなく森林の多面的機能を有効活用できる広域的な路網計画
- ・ 林道に代わる幹線道の役割を果たし将来にわたり安定した路体の作業道構築
- ・ 地形や地理条件に合わせた柔軟な規格選定による作業道開設
- ・ 作業道が森林整備の附帯事業との認識を改めインフラとして整備

②持続可能な資源として認識

- ・ 集団安定性と個体安定性に配慮した事業種選定による広域的に安定した森林づくり
- ・ 小面積分散型主伐再造林による長期循環思考の森林づくり
- ・ 天然広葉樹の適正な利用と保全による有用樹林化



屋根型作業道



LXウォール施工状況



主伐再造林事業地



間伐事業地



中間土場



D材利用研修会



ボランティア活動



災害レスキュー訓練